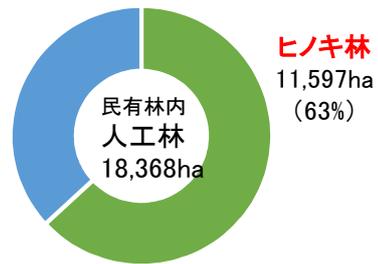
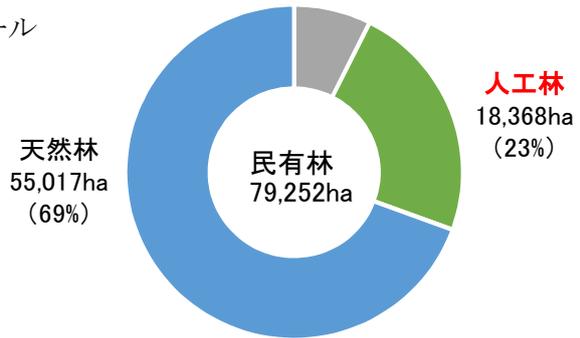
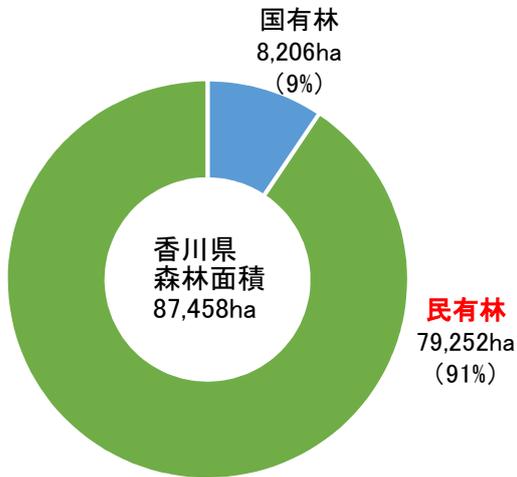


1. 香川県の森林資源について

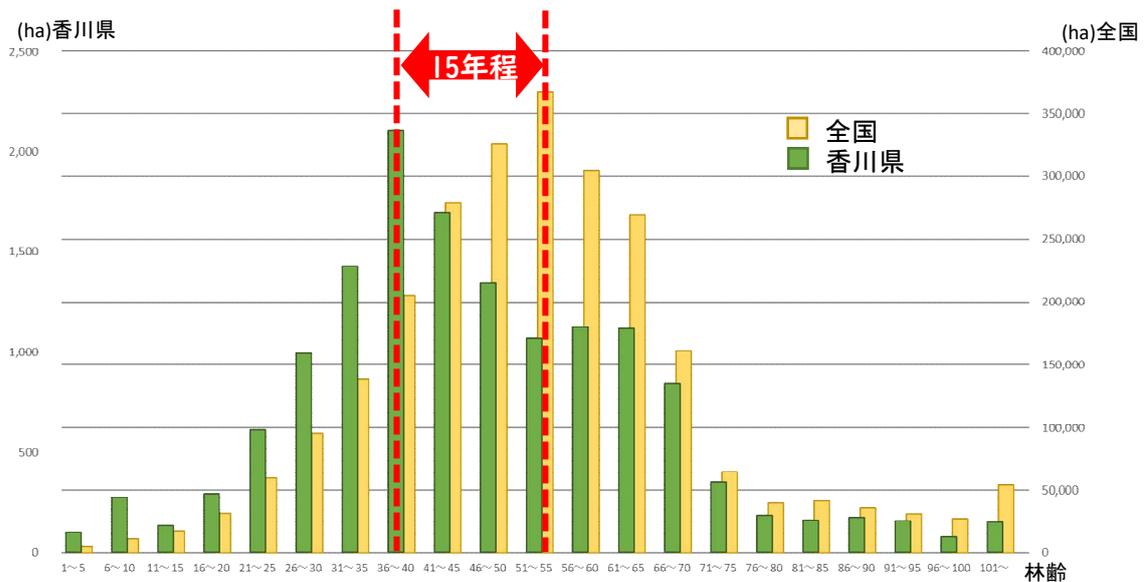
香川県の森林の特徴

< 県内森林面積 約8万8千ヘクタール(森林率:47%) >

- ・県内森林のうち人工林面積は約2万3千ヘクタール
- ・人工林の多くがヒノキ林
- ・全国と比較して林齢が若い森林が多い



ヒノキ人工林面積の林齢別比較



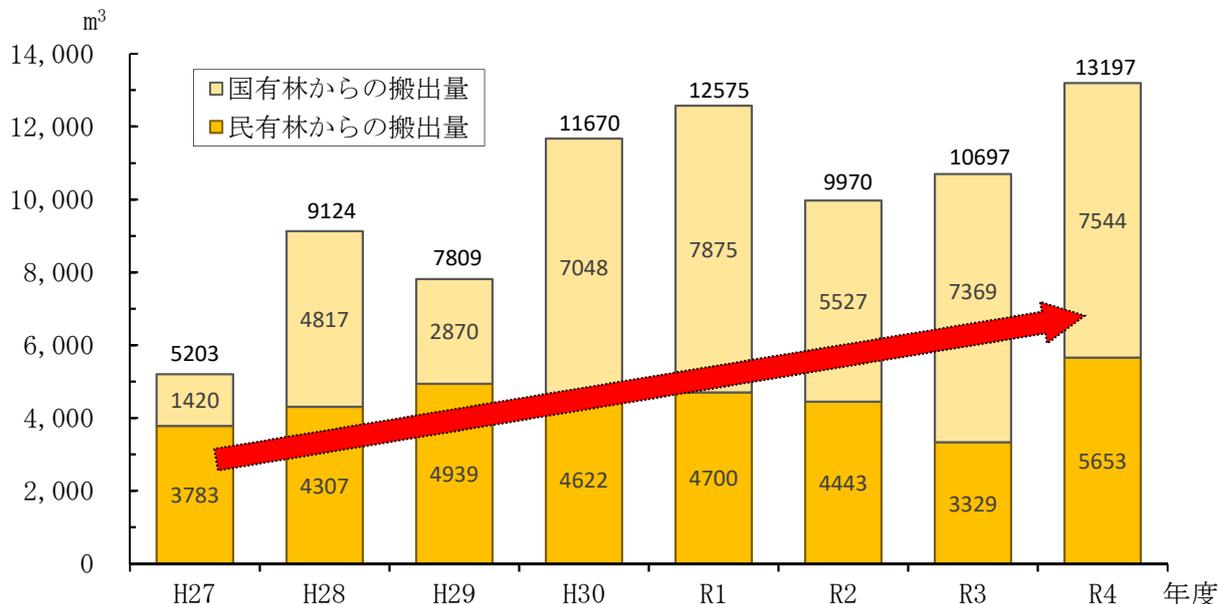
香川県内ヒノキ人工林の材積の推移(推計)



2. 県産木材の供給と利用について

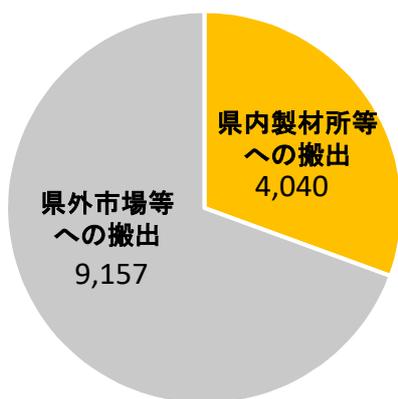
県産木材の搬出量の推移

「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画 目標値：13,700^m³（R7年度）



県産木材の建築用材としての利用

令和4年度 県産認証木材搬出量(原木) 13,197^m³ (うちヒノキ 7,819^m³)



県産木材の県内搬出量は、県内住宅の約400戸分

県内住宅 1棟当たりの柱、土台での木材使用量 約5^m³
 県内搬出量を製材換算(1/2) 約2,020^m³

県内全ての新築木造住宅の柱、土台に必要な木材の量 約19,800^m³ 原木換算(*2) 約39,600^m³

県内住宅 1棟当たりの柱、土台での木材使用量 約5^m³
 県内木造住宅着工戸数 3,960戸(令和4年度)
 県内民有林針葉樹の年間成長量 約41,000^m³

増え続ける森林資源・森林の高齢化によって下がるCO₂吸収量

県産木材の住宅等への積極的な活用

森林資源の有効活用・山間地域の活性化・森林整備の促進・公益的機能の維持増進
 森林の更新によりCO₂吸収量の増・建築物として長く炭素を固定・製造、運搬過程でのCO₂排出量の減

3. 香川県の林業について

環境にやさしく持続可能な林業を構築

- 環境負荷を減らし、地理的要件などを考慮した、林業の生産性の向上
- 下流への表土流出の影響が少ない、搬出間伐の促進
- 植林などによる森林資源の充実
- 「伐って、使って、植える」という森林資源の長期的・持続的な循環利用

搬出間伐の促進による資源の活用と充実の両立



搬出間伐の促進



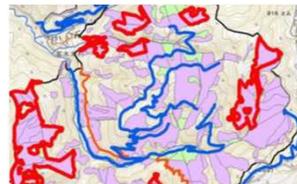
県産木材の利用促進



簡易で負荷の少ない作業路開設等による路網の整備



本県に適した高性能林業機械の導入



ICTの活用による施業の集約化の促進